

## 国際会議から

## COMPRAIL 2012

本会議はイギリスのウェセックス研究所が主催する鉄道工学の設計や運用に関する国際会議であり、今回で13回目の開催となります。22カ国の鉄道技術者が集い、輸送計画、コンピューター技術、列車制御技術、エネルギー供給技術、リスク評価など、14のセッションに分かれて発表が行われました。会議では解析手法に関する発表が多く、筆者はトンネル入口付近における電車線特性評価手法について発表を行いました。鉄道に関わる様々な部門の専門技術者が集い、深い議論を交わすことができました。



発表風景

正式名称：13th International Conference on Design and Operation in Railway Engineering  
 開催国：イギリス(ニューフォレスト)  
 期間：2012/9/11-13  
 主催：Wessex Institute of Technology, UK  
 開催頻度：1回/2年  
 次回開催予定：2014年(開催地未定)



菅間陽二  
 電力技術研究部  
 電車線構造研究室  
 研究員

会議はウェセックス研究所の本拠地でもあるイギリスのニューフォレストで開催されました。ロンドンから電車で1時間半程度の場所に位置しており、地域全体が国立公園に指定されています。市街地から少し離れると馬や牛が放



最寄りの鉄道(第3軌条方式)  
 ロンドン~サウサンプトン

し飼いにされており、道路を占拠することもあります。英国人にとって自然と一体となり、ゆっくりと休暇を過ごす場所のようです。